

○計画期間：平成25年4月～平成30年3月（5年0月）

## I. 中心市街地全体に係る評価

### 1. 平成26年度終了時点（平成27年3月31日時点）の中心市街地の概況

#### ■はじめに

平成26年度も中心市街地と各地域生活拠点とを有機的に結ぶ「多極型のコンパクトなまちづくり」の方針のもと、中心市街地の再生に向けた取り組みを展開した。

#### ■まちの動き

平成16年11月の9市町村の合併により、山陰初の20万都市・新鳥取市が誕生してから、満10年を迎えた。郊外では、平成26年8月に山陰海岸ジオパークが世界再認定、また鳥取市西側のエリアも新規で認定され、ジオツーリズムや教育への活用など、さらなる地域経済の活性化が期待される。

中心市街地では、鳥取駅南口をより安全で便利な交通広場とするための整備が進められ、平成27年2月に供用開始された。平成26年6月には鳥取駅北口に「鳥取市医療看護専門学校」の校舎が完成し、平成27年4月の開校をめざしオープンキャンパスが開催された。

また、中心市街地内の総合病院として鳥取生協病院とともに地域医療を支えている鳥取赤十字病院では、平成30年度の完成に向け新棟の建設が進められている。平成26年6月に公立鳥取環境大学の「まちなかキャンパス」、11月には鳥取大学地域学部のサテライトキャンパス「SAKAE401」がオープンし、教職員や学生の活動拠点が街なかに生まれたことにより、学生の来街機会の増加と大学とのさらなる地域連携が期待されている。商店街の動きは、若桜街道商店街、智頭街道商店街においてアーケード改修が行われ、明るく、安心・安全な通り環境が整備された。一方で、建設から50年あまりにわたって地域の方の生活を支えてきた川端銀座アーケードは、老朽化により撤去され、LED街灯等が整備された。また、本通商店街では、平成27年度にアーケード再構築とコミュニティー拠点整備などが計画されている。

これらの事業の実施は中心市街地への来街動機を促すことにつながっており、賑わいの創出に大きく寄与している。一方で、空き店舗対策事業や新規開業支援事業により新規出店数は増加傾向にあるが、経営不振や後継者不足、建物の状態等により長い間空いたままの空き店舗も多く、商店街の賑わい形成の課題となっている。

#### ■基本計画の進捗状況

全56事業中、5事業が完了。46事業が実施中。5事業が未着手。

### 2. 平成26年度の実施等に対する中心市街地活性化協議会の意見

鳥取市中心市街地活性化協議会においては、鳥取市をはじめ経済団体や大学等の関係機関で構成するタウンマネジメント会議を定例で開催し、基本計画掲載事業の進捗状況等について情報共有を図ると共に、推進における課題やその対応方策について検討を行い、中心市街地活性化の総合調整を図った。また、各事業の推進については、必要に応

じてタウンマネージャーにより事業設計や調整、運営支援を行い、併せて新たな事業発掘に向けて調査を実施したり、協議へ参画するなどして、事業化に向けて事業主体のサポートを行った。

平成26年度の基本計画の状況については、各種数値目標を達成することができており、計画掲載事業が中心市街地の活性化に対して効果的に実施されていると捉えられる。商店街振興組合等により拠点施設や通り環境が整備され、施設入館者数の堅調な伸びやイベント開催による大規模集客が実現されている状況も見受けられ、基本計画は概ね順調に進捗していると考ええる。

## II. 目標毎のフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の見通し	今回の見通し
街なか居住の推進	中心市街地の居住人口 (社会増減数)	77人/年	社会増減をプラスにする (H25～29年度平均)	93	①	①
賑わいの創出	主要10地点歩行者・自転車通行量【平日】	13,229人/日	14,000人 (+771人、+5%)	17,338	①	①
	主要10地点歩行者・自転車通行量【休日】	9,377人/日	9,900人 (+523人、+5%)	17,407	①	①
	新規開業数	17.7店舗	20店舗 (13%増) (H25～29年度平均)	27	①	①

#### <取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

### 2. 目標達成見通しの理由

#### ■基本計画目標指標の状況

##### 【人口の社会増減】

平成26年度の社会増減数+173人となり、昨年度の13人を大きく上回った。全体の年齢別の傾向は、生産年齢人口は+133人となっている。増加数の多い年代は、30歳代が+64人、40歳代が+38人となっており、子育て世代の増加が目立っている。

街なか居住者支援事業、既存ストック活用支援事業の利用実績は僅かだったものの、UJITa

ーン促進事業により38人が中心市街地に移住した。平成25年度の実績16人に対して+22人であり、転入者の増加に大きく寄与した。また、鳥取駅南口に新たに建設された大型の民間集合住宅への中心市街地外からの入居が、増加の最大の要因となった。

#### 【歩行者通行量】

平成26年度の歩行者通行量は、平日が17,338人と昨年度比+2,510人、休日が17,407人と昨年度比+6,023人と大幅に増加し、共に目標値を上回った。

平成25年7月に完成した「駅前太平線バード・ハット」では、週末を中心に様々なイベントが開催されており、平成26年度には延べ約51,000人の集客があり、駅前の新たな賑わい拠点として定着している。また、本通商店街振興組合が運営する商業施設「パレットとっとり」はオープン10周年を迎え、まちなかに少ない生鮮食料品を扱う施設として来街者や居住者の利便性の向上に貢献している。

平成25年4月より中心市街地区域内を中心に循環するコースが新設された100円循環バス「くる梨」は、平成26年度の利用者は約373,000人と、前年度に比べ約10,000人増加しており、来街者の増加と施設間の回遊性の向上に大きく寄与している。

平成26年3月には鳥取駅構内のテナントビル「シャミネ鳥取」がリニューアルオープンした。山陰エリアや鳥取県で初出店となる若者向けの店舗が多く、鳥取駅周辺の来街者の増加に寄与している。

また、調査日に中心市街地内で大規模なイベントが開催されたことが大きな要因と考えられる。

#### 【新規開業数】

平成26年度の新規開業数は27店舗、昨年度比+1店舗となり過去5年間で最も多く、目標値を上回っている。うち、飲食業が15店舗と全体の半数以上を占めている。空き店舗対策事業の利用による新規出店は6店舗であり、新規開業数の増加に寄与している。

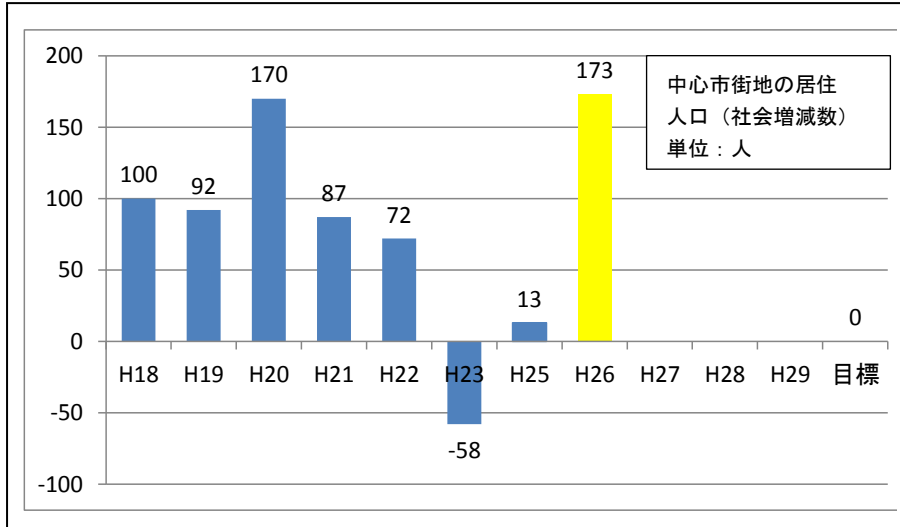
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回フォローアップの実施から変更はない。

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「中心市街地の居住人口（社会増減数）」※目標設定の考え方基本計画 P62 参照

##### ●調査結果の推移



年	人/年
H18 ～ H23	平均値 77 (基準年値)
H24	-
H25	13
H26	(H25～H26 の平均) 93
H27	
H28	
H29	
H25 ～ H29	平均をプラス にする (目標値)

※調査方法：住民基本台帳を基に中心市街地の転入・転出を集計

※調査月：平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

※調査主体：鳥取市

※調査対象：中心市街地内の転入・転出

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. 街なか居住者支援事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成 25 年度～
事業概要	中心市街地の住宅取得のための支援を行うことにより、中心市街地への定住促進を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 26 年度の住宅取得資金に対する利子補給実績は 2 件。

###### ②. 既存ストック活用支援事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成 25 年度～
事業概要	中心市街地の空き家の利活用や、国の事業を活用した住宅改修を行う場合の追加支援を行うことにより、空き家の解消と中心市街地への定住促進を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 26 年度の空き家改修支援事業に対する利用実績は 1 件。

###### ③. 住まいネットワーク事業（鳥取市・鳥取県宅地建物取引業協会）

事業完了時期	【実施中】平成 22 年度～
事業概要	中心市街地の不動産情報の提供を行うことにより、中心市街地への関心喚起、ならびに中心市街地への定住促進を図る。
事業効果及び進捗状況	平成 23 年 1 月より、住まいに関する総合相談窓口を、(社)鳥取県宅地建物取引業協会東部支部に委託し設置。専門の相談員を配置し、相談業務に対応している。平成 26 年度の相談受付 66 件。

###### ④. UJI ターン促進事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成18年度～
事業概要	市外からの定住希望者に対する情報提供や住宅改修助成等の支援を行うことにより、中心市街地における居住人口の増加を図る。
事業効果及び進捗状況	当該事業による平成26年度の移住者は鳥取市全体で200世帯、351人。中心市街地では21世帯、38人。

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

「住まいに関する総合相談窓口（住まいネットワーク事業）」を有効活用し、利用実績の少ない「空き家・空き床活用支援事業」、「住宅取得資金に対する利子補給」等の周知・広報に努めるとともに、「街なか居住体験施設」の利用促進により、街なか居住の魅力や快適性についての啓発に取り組むことで、移住定住につなげていく。

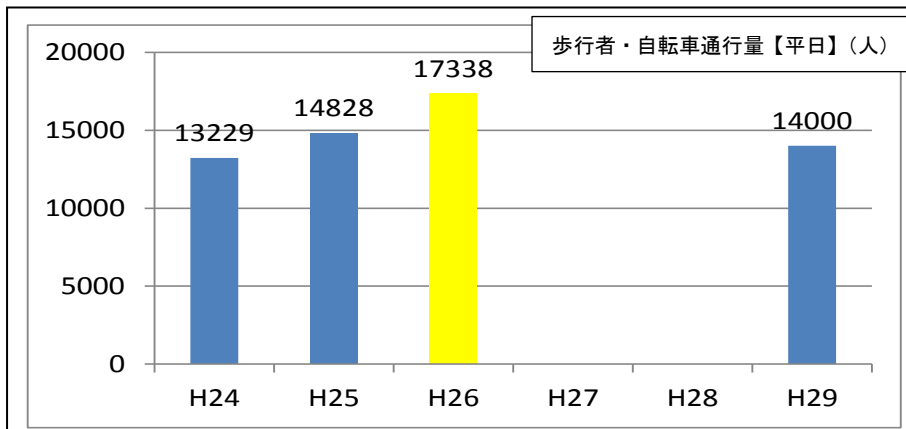
鳥取県への移住者は東日本大震災以降増加傾向にあるため、今後もU・J・Iターン促進事業を効果的に推進していく。

また、平成27年4月に鳥取駅北口に開校した医療看護専門学校により、さらなる居住者の増加が期待できる。

上記取り組みの推進により、目標達成は可能であると見込まれる。

「主要10地点歩行者・自転車通行量【平日】」※目標設定の考え方基本計画P62参照

### ●調査結果の推移



年	人
H24	13,229 (基準年値)
H25	14,828
H26	17,338
H27	
H28	
H29	14,000 (目標値)

※調査方法：鳥取商店街連合会に調査実施を委託。10月の平日1日において調査。該当地区内10地点において、9:00～19:00まで調査員が数取器により計測し、把握する。

※調査月：平成26年10月

※調査主体：鳥取市商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内10地点における歩行者および自転車

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①. 市道駅前太平線賑わい空間活用事業（新鳥取駅前地区商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	道路空間の再配分により整備する全天候型広場を活用したイベント等を定期的で開催することにより、中心市街地の集客増、ならびに交流促進を図る。
事業効果及び	平成25年7月に、鳥取駅前太平線に開閉式の大屋根と芝生広場のある空間

進捗状況	(愛称「バード・ハット」)がオープンした。週末を中心に様々なイベントを実施し、平成26年度には約51,000人の来客があった。全天候型の「賑わい空間」として定着している。
------	---

②. パレットとっとり運営事業（鳥取本通商店街振興組合）

事業完了時期	【実施中】平成17年度～
事業概要	生鮮食料品や飲食等の日常生活関連業種が入居する商業施設「パレットとっとり」を運営することにより、来街者や居住者の利便性の向上、ならびに中心市街地の集客増を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年度の入館者数は約663,000人と、前年度比13%増となっており、来街者の増加に寄与している。

③. 100円循環バス「くる梨」運行事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成14年度～
事業概要	中心市街地における公共交通不便地域の解消と公共施設利用者の利便性向上のために循環バスを運行している。平成25年度から、新規に1路線を増設することにより、さらなる来街者および居住者の利便性の向上を図っている。
事業効果及び進捗状況	平成26年度の利用者は約373,000人と、前年度に比べ約10,000人増加しており、来街者の増加に寄与している。

●目標達成の見通し及び今後の対策

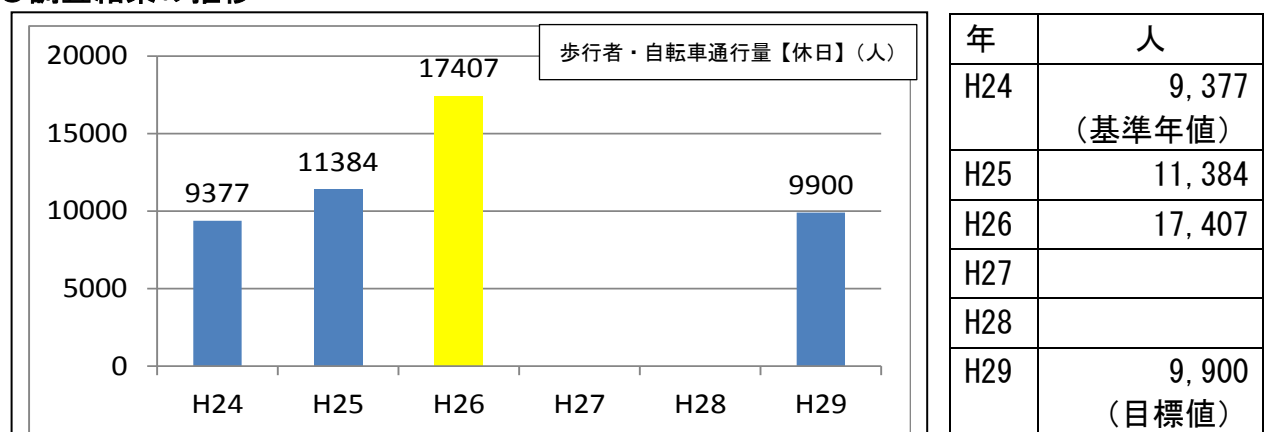
「駅南賑わい創出空間事業」、「扇町駐車場（仮称）整備事業」、「観光用駐車場整備事業」等、一部事業は計画通りに進捗していないものの、「市道駅前太平線賑わい空間活用事業」、「100円循環バス「くる梨」運行事業」等の主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能であると見込まれる。

また、中心市街地に立地する文化観光施設等において、それぞれの特性を活かしたイベント等を開催することにより利用者が増加しており、今後も来街者の増加が見込まれる。

上記取り組みの推進により、目標達成は可能であると見込まれる。

「主要10地点歩行者・自転車通行量【休日】」※目標設定の考え方基本計画P62参照

●調査結果の推移



※調査方法：鳥取商店街連合会に調査実施を委託。10月の休日1日において調査。該当地区内10地点において、9：00～19：00まで調査員が数取器により計測し、把握する。

※調査月：平成26年10月

※調査主体：鳥取市商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内10地点における歩行者および自転車

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 市道駅前太平線賑わい空間活用事業（新鳥取駅前地区商店街振興組合）

「【再掲】P6参照」

②. パレットとっとり運営事業（鳥取本通商店街振興組合）

「【再掲】P7参照」

③. 文化観光施設等運営事業（（財）鳥取市文化財団・（財）鳥取童謡・おもちゃ館）

事業完了時期	【実施中】昭和51年度～
事業概要	中心市街地に立地する文化観光施設等において、それぞれの特性を活かしたイベント等を開催することにより、中心市街地の集客増を図るとともに、施設間の連携により、来街者の回遊性の向上や滞留時間の延長を図る。
事業効果及び進捗状況	事業対象文化施設（3施設）の平成26年度入込客数は171,158人であり、平成25年度の163,582人から増加しており、来街者の増加に寄与している。

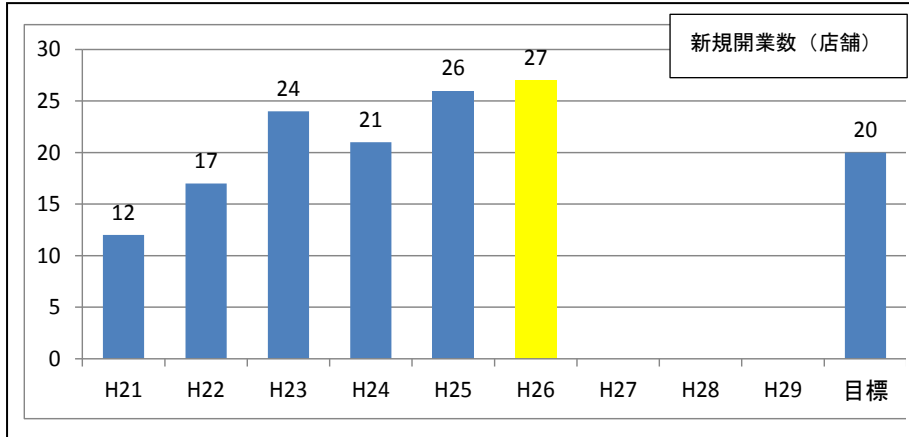
### ●目標達成の見通し及び今後の対策

「【再掲】P7参照」

#### 4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「新規開業数」※目標設定の考え方基本計画 P63 参照

##### ●調査結果の推移



年	人/年
H21 ～ H24	平均値 17.7 (基準年値)
H25	26
H26	(H25～H26の平均) 27
H27	
H28	
H29	
H25 ～ H29	平均値 20 (目標値)

※調査方法：鳥取市中心市街地活性化協議会が調査を実施。商店街区域にある建物は毎月、その周辺区域にある建物は9月と3月に調査。1階部分の新規開業件数を目視により確認のうえ集計し、把握。

※調査月：平成26年4月～平成27年3月

※調査主体：鳥取市中心市街地活性化協議会

※調査対象：中心市街地商店街振興組合地区および周辺区域

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. 空き店舗対策事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成13年度～
事業概要	空き店舗を活用した新規開業に対する支援を行うことにより、空き店舗の解消と中心市街地の集客増を図るとともに、商店のシャッターが開くことによる景観向上を図る。
事業効果及び進捗状況	対象区域において、平成26年度は6店舗（うち大型空き店舗2件）が、空き店舗を活用した新規開業を行った。

###### ②. 鳥取市商業振興補助事業（鳥取市）

事業完了時期	【実施中】平成13年度～
事業概要	商店街の環境整備や販売促進活動等に対する支援を行うことにより、中心市街地の集客増、並びに中心市街地への関心喚起を図る。
事業効果及び進捗状況	平成26年度活動支援事業2件、環境整備事業は1件の利用があった。

##### ●目標達成の見通し及び今後の対策

「空き店舗対策事業」等の主要事業は順調に進捗している。今後は、必要に応じて事業の見直しを行いながら、引き続き、空き店舗の活用促進につながる商業振興と賑わい創出を図る。

また、民間事業者が主体となり空き家や空き店舗等の遊休不動産をリノベーション手法により再生させ、新たな事業を始めることでエリア再生をめざす「リノベーションまちづくり」の推進により、新規開業数のさらなる増加をめざす。

上記取り組みの推進により、目標達成は可能であると見込まれる。